

◆教育・保育の需要見込みの乖離状況

○計画と「中間年の見直しのための作業手引き」で算出した需要数、需要率の乖離状況(平成28年度) 単位:人

区分		計画 A (需要見込み)	算出数 B ※1 (平成28年度4月1日実績)	見込み差 B-A	需要数の乖離率 B/A ※2	
1号認定	需要数	3,112	3,043	-69	97.78%	
	需要率	53.81%	51.13%	-2.68%		
2号認定	需要数	2,457	2,604	147	105.98%	
	需要率	42.49%	43.75%	1.26%		
3号認定	0歳	需要数	638	719	81	112.70%
		需要率	27.98%	27.68%	-0.30%	
	1・2歳	需要数	2,087	2,280	193	109.25%
		需要率	50.73%	50.28%	-0.45%	

※1 1号～3号認定者＋新制度に移行していない私立幼稚園利用者＋認定を受けていない認可外保育施設利用者(区が把握している範囲)

※2 「作業の手引き」では、平成28年4月1日時点の支給認定区分ごとの子どもの実績値が計画における需要見込みよりも10%以上の乖離がある場合には見直しが必要であるとしている。

○計画策定時の人口推計と実績値との乖離状況

平成28年度の比較

単位:人

区分	計画策定時 A	実績値 B (平成28年4月1日現在)	見込み差 B-A
0歳	2,280	2,598	318
1～2歳	4,113	4,535	422
3～5歳	5,782	5,952	170

(参考)平成29年度の比較

単位:人

区分	計画策定時 A	実績値 B (平成29年4月1日現在)	見込み差 B-A
0歳	2,271	2,559	288
1～2歳	4,079	4,770	691
3～5歳	5,745	6,015	270

※「作業の手引き」では、平成28年4月1日現在の実績を比較することになっている。